



滋賀



無住古民家活用 語る

「住居として再生、最良」

県立大教授
草津で講座

草津市笠山7丁目の
県レイカディア大学草
津校で21日、公開講座
「古民家を活用した町
づくり」が開かれ、聴
講生約240人が地域
にある空き家の古民家
の活用方法を学んだ。

古民家を再生させた実
例を聞く聴講生(草津
市笠山7丁目・県レイ
カディア大学草津校)

十数年前から古民家
の保全に取り組む県立
大の濱崎一志教授が講
師を務めた。

濱崎教授は、空き家
の増加は防災や集落機
能などの低下を招いた
ため、古民家の空き家を
住居として再生させる
のが一番望ましいと指
摘した。

湖北、湖東、湖西に
残る古民家は、新興住
宅地の建売住宅に比べ
屋内に大きな空間が取
れるという優位性があ
り、田舎暮らしを求め
る人たちに住居やセカ
ンドハウス、店舗とし
て提供できるとした。

「どう使うかも大きな
テーマだが、登記され
ていない空き家も多
く、法務局との連携が
必要になる」と結んだ。

(糸井則次)

café・restaurant

やすらぎ・空間手造りの館
ハウス

TUKUHIKO

草津市矢橋町102
☎564-0921-11 〈毎週月曜定休〉